

NGO相談員による出張サービス実施報告書

1 月 24 日付貴信にてご承認いただきました、NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施いたしましたので、ご報告します。

記

1. 企画名 : ぼらチャリパーク～ボランティアとチャリティの遊園地～

【形態: 相談対応サービス・講演・セミナー・その他 ()】

2. 出張者氏名: (特活) 名古屋 NGO センター 門田一美

3. 催しの概況:

実施日 2014 年 1 月 26 日 (日) 11:00～17:00

場 所 ナディアパーク (愛知県名古屋市中区栄 3-18-1)

対象者 子ども、学生、社会人、退職者など一般。

うち、ブースに訪れた人は約 45 名、相談者は 16 名。

概 要 名古屋市市民活動推進センター (名古屋市が運営) を中心とする実行委員会が開催するイベント。「親子で楽しく遊びながら、ボランティアや NPO について学べる 1 日」と題し、元野球選手がボランティアについて語る企画や障がい者体験など様々な企画が行われた。当団体はブース出展を行い、お子さんにもわかりやすく、世界のことを知るために身近なテーマ (食食物等) を取り上げた 3 択クイズなどを行った。また、ボランティアに元々関心のある層に対しては、市内にある NGO 団体や関連イベントなどの紹介を行い、国際協力ボランティア活動に身近に関わることができる窓口があることを知って頂きボランティア参加を促すことを目的として実施した。

4. 実施内容:



●主な相談内容は以下のとおり。

- ・ フェアトレードチョコレートはどうやって作られているのか?
- ・ 国際協力系のボランティアがしたいが、イベントはあるか?
- ・ フェアトレードとはどのようなものか?
- ・ 子どもが 3 人いるが、自宅で学習支援のようなボランティアであればできると思うがそうした団体はあるか?

ブース内でフェアトレード商品の陳列、説明資料を配置したことにより、フェアトレードに関する相談・質問が多く寄せられた。また、ブースに立ち寄る親子連れが多く、絵やを使って世界の課題を知って頂く 3 択クイズが大変好評であった。

相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名：「国際協力についての講演及び交流」

※出張形態：講演

2. 出張者：今里拓哉（（公財）PHD協会職員）

3. 実施日：2014年1月7日（火）14:00～16:00

4. 場所：兵庫県民会館

（兵庫県神戸市中央区下山手通4丁目16-3）

5. 対象者：神戸市シルバーカレッジ国際友の会、約30名

6. 実施報告：神戸市シルバーカレッジ国際友の会の方々を対象に国際協力の概要及びアジアの研修生によるレクチャーを行った。また友の会の方々もゲームなどを準備しアジアからの研修生たちとの交流を図った。

シルバーカレッジ国際友の会の方々は当会研修生の日本語ボランティアや使用済み切手の整理ボランティア、バザーのお手伝いなど、多方面でご協力ご支援いただいている。このたびはPHDおよび研修生たちから、PHDが実践する国際協力の在り方や具体的な研修内容に関してレクチャーさせていただいた。

7. 添付画像：当日の様子を2枚添付



相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 1. 企画名：「神戸親和女子大学での国際協力及び地域との関わりについての講演」

※出張形態：講演

2. 出張者：坂西卓郎（（公財）PHD協会職員）

3. 実施日：2014年1月9日（木）12：50～14：20

4. 場所：神戸親和女子大学
（兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町7-13-1）

5. 対象者：神戸親和女子大学2～4年生 約42名

6. 実施報告：神戸親和女子大学の二～四年生の方を対象に国際協力の概要及びアジアの研修生によるレクチャーを行った。学生は文学部に所属している学生がほとんどで、卒業後は教師になる学生が多いとのことだった。

依頼内容としては地域と国際協力の関係、外国人の共生というテーマだったので、そこを中心に講演を行った。PHD協会が地域での活動を積極的に行っており、30年以上も活動している点を評価していただき、今回の依頼となったので、神戸という地域で具体的にどのように地域と関わり、国際協力活動を展開しているかを中心に話をした。また外国人との共生というテーマを深めるために研修生にも同行してもらい、地域での共生についても話題提供をした。

一方的なレクチャーだけでなく、学生の方に随時投げかけを行い進めることを重視したことにより、目的であった「国際協力及びODAについても基礎的な理解を促進し、兵庫県で行われている地域での国際協力のあり方について理解を深めることは達成できたと思われる。その根拠としては、終了後の懇親会にも数名の意識が高い学生が来てくれ、個別に質問などを受けることができ、盛り上がりを見せたことが挙げられる。

今回、今年度としては初の大学での出張サービスの開催であったが、学生の方たちの関心も高く有意義なものであった。今後、教師になる方にNGO相談員の存在を知ってもらえたことも、将来の展開に繋がることと思われる。

7. 添付画像：別紙に当日の様子を3枚添付



「神戸親和女子大学での国際協力及び地域との関わりについての講演」の様子①

神戸親和女子大学の学生に NGO 相談員制度についての説明をしているところ。



「神戸親和女子大学での国際協力及び地域との関わりについての講演」の様子②、③

②教室の様子。

③学生に国際協力について考えてもらっているところ。

相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 1. 企画名：「蕨島小学校での国際協力についての講演及び交流」

※出張形態：講演

2. 出張者：坂西卓郎（（公財）PHD協会職員）

3. 実施日：2014年1月14日（火）14：20～15：05

4. 場所：出水市立蕨島小学校
（鹿児島県出水市庄 3998）

5. 対象者：出水市立蕨島小学校 全校生徒 16名+教師
蕨島地域の方々 約20名

6. 実施報告：蕨島小学校の全校生徒及び地域の方を対象に国際協力の概要及びアジアの研修生によるレクチャーを行った。蕨島小学校は小規模校入学特別認可制度を取得しており、全校生徒は16名だが、地域外から来る生徒が半数を占めている。また地域で支えるという意識が強く、今回の講演にも地域住民が約20名参加しておられた。

講演内容は小学生向けに国際協力や国際交流について噛み砕いて説明を行った。その後、質疑応答や研修生の報告を行い、最後には体験講座としてミャンマーの遊びなどを行った。

蕨島地域は全人口で200名程という小さなコミュニティであるが、その分結束が強く、子どもたちも大変純粋な子たちという印象を受けた。ただ地域柄国際交流の機会は少なく、今回の機会を学校を挙げてよろこんでくれた。子どもたちも質問や交流に大変積極であり、目的であった「国際協力について基礎的な理解を促進し、アジアの研修生とも直接交流してもらうことで、国際協力への関心を高める」ことは充分達成できたと思われる。実際に授業終了後も個別に話を聞きに来る子どもたちも多かった。また夜には同地域で別途交流会を持ったが、その場にも多くの子どもたちや地域の人に来てくれた。

今回、当会としては初の鹿児島県での出張サービスの開催であったが、学生の方たちの関心も高く、また通常であれば国際協力について知る機会がない地域での開催であり、有意義なものであった。今後、同じように当会のネットワークを生かして、国際協力に触れる機会が少ないと思われる地域での開催を試みていきたい。

7. 添付画像：別紙に当日の様子を3枚添付



「蕨島小学校での国際協力についての講演及び交流」の様子

①

蕨島小学校の生徒に NGO 相談員制度についての説明をしているところ。



「蕨島小学校での国際協力についての講演及び交流」の様子②、③

②全校生徒に加え、地域の方々にもご参加いただいた

③子ども達との集合写真

相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名：「北淡中学校での国際協力についての講演及び交流」
※出張形態：講演
2. 出張者：井上理子(公財)PHD協会職員)
3. 実施日：2014年1月30日(金) 13:45～14:25
4. 場所：淡路市立北淡中学校
(兵庫県淡路市浅野神田114-1)
5. 対象者：淡路市立北淡中学校3年生約70名
6. 実施報告：北淡中学校3年生全員に対して、PHD協会についての紹介から始め、国際協力とは何か、また団体には非営利組織と非政府組織があることなど概要を伝えた。その後は当協会の海外からの研修生であるミャンマー・ネパール・インドネシアの地域について写真を使いながら紹介した。また、研修生の地域で日本政府と協働して補整した道路等と例にあげ、国際協力の実際の活動についての話も行った。随時、こちらからも質問等を投げかけたり、学生側からも積極的に質問があり、一方的に話を聞くのではなく双方向の交流の時間を持つことができた。
7. 添付画像：当日の様子を2枚添付

NGO相談員事業について説明している様子



海外からの研修生の地域紹介の様子

相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名：「灘小学校での国際協力についての講演及び交流」
※出張形態：講演
2. 出張者：今里拓哉（（公財）PHD協会職員）
3. 実施日：2014年1月31日（金）9：30～10：30
4. 場所：南あわじ市立灘小学校、体育館
（兵庫県南あわじ市灘山本313番地）
5. 対象者：南あわじ市灘小学校の全校児童24名と先生5名
6. 実施報告：灘小学校の体育館に招かれ、小学6年生の司会進行のもと、校長先生の挨拶、PHD側の自己紹介、そしてPHD側の講演へと進められた。講演ではミャンマー・ネパール・インドネシアの基本的なことをクイズ形式で出題し、子どもたちに考えてもらったのちに、PHDの研修生たちが答えと補足説明をする形で進めた。講演後は子どもたちから日本文化紹介としてけん玉や大縄跳びなどが披露され、研修生との交流が図られた。
7. 添付画像：当日の様子を2枚添付



PHD側の講演の様子



灘小学校の子どもたちのけん玉披露

(特活)NGO 福岡ネットワーク:NGO 出張相談報告書(平成 26 年 1 月)

団体名:(特活)NGO 福岡ネットワーク

出張サービス企画名:玄洋高校出前ボランティア講座

実施日時:平成 26 年 1 月 22 日(水) 15 時 35 分～16 時 25 分

場所:福岡県立玄洋高等学校(福岡市西区大字田尻 2490 番地)

(ア) 実施内容

本講座はクラスごとに、「社会福祉」「まちづくり」「文化芸術」「環境」「国際協力」「子ども教育」「災害支援」などのテーマを設定して、NPO/NGO がそれぞれのテーマについて講演を行うものである。当団体は団体の活動紹介と合わせて、世界で起こる様々な課題をクイズ形式で紹介したり、国際協力の現状やボランティア活動、高校生にも取り組むことができる関わり方などについて理解を深めてもらうことを目的として講演を行った。

(イ) 集客人数

参加者数:36 人

所感及び効果等

当団体は大学や中学校などにおいて講演する機会をよくいただくが、高校での講演は其中でも最も少ない状況であった。今回の講演が実現したのは学校側の要望を受けた市のボランティアセンターの仲介によるものであり、日頃から出張サービスの活用を告知していた賜物であると感じている。

今回出張サービスを実施した高校では NPO やボランティア活動を紹介する取り組みは初めてということで、関心のある生徒を除いて多くの生徒にとっては初めて触れる内容だと推察し、NPO とは？ボランティアとは？といった基礎的な話を優しく行うことを心がけた。また、世界の課題をより身近に感じてもらうために、貧困や飢餓といったデータを使ったクイズを取り入れながら、自分達の生活とそうした課題とのつながりを意識してもらうような講演を行った。そうした工夫が功を奏し、徐々に真剣にクイズに挑戦をしたり話に聞き入る生徒たちが見られるようになった。

今回の講座においては、必ずしも NPO/NGO やボランティア活動に関心を持つ生徒が多いわけではない場所において、いかに身近な話題として提供し、NGO や国際協力の意義を感じてもらいか？ということを意識して取り組んだが、生徒の反応や終了後の担当教員のコメントからは概ね達成できたことを感じる事ができた。国際協力に限らず、国内での社会課題なども含めて、小さな疑問や関心が活動への参加につながる事が多く見られる。今回の講座を聞いてすぐに NPO や NGO の活動に参加する生徒が現れることを期待したいが、自分の中のどこかに引っかかりとして残り、やがて思い出す機会を得たときにあらためて興味関心を深めていただくことができればと、願っている。



班に分かれてクイズを解く様子



講演の様子